

大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮

— 曹洞宗関係雑誌記事分類目録稿(2) —

熊 本 英 人

本稿は、曹洞宗関係の及び仏教関係の新聞雑誌にみる主張、議論等から、曹洞宗教団の志向、僧侶の思潮を探ることを目的とするものであり、そのための、記事内容による分類目録である。『曹洞宗研究員研究紀要』第29号(1998年12月)の続稿にあたるものである。

本目録では、前項に引き続き、『宗教時報』を取り上げる。

駒澤大学図書館に架蔵されている『宗教時報』は、第164号、昭和5年10月20日発行までである。したがって、今回の目録も、この号までの記事を収録した。この号で終刊となったのかどうか、今のところ定かではないが、少なくとも、この時点で、財政難に陥っていたことだけは、社告などから窺えることである。

この時期の特徴としては、前回にも触れたとおり、大正14年1月に大本山永平寺系の『洞上公論』が、さらに同年6月に大本山總持寺系の『公正』が創刊されており、他の諸紙も加えて、宗門のオピニオン紙が数多く出されていたことがある。特に、『宗教時報』は、両本山系の二紙を意識していたことは、毎号劈頭に「曹洞宗唯一宗政政論機関」と記されていたものが、大正14年6月発行の第101号より毎号、「本誌の特長は超然として両本山所属党派の外に卓立して至公中正以て末派の福利を伸張する唯一政論の機関なり」と変わったことから明らかである。

また、この時期に起こった宗門の動静として、正信論争と、大本山總持寺および大雄山最乗寺(神奈川県)の後住問題がある。

特に、正信論争については、『星華』第1号(昭和3年9月)の忽滑谷快天「正信」を発端に、『中央仏教』紙上を中心に、『洞上公論』『公正』において激しい論争が行われた。この経緯については、永井政之「正信論争関係年表」(『曹洞宗選書第8巻 教義篇—正信論』同朋舎出版、1981年)に詳しい。この年表には載っていないが、『宗教時報』紙上でも、論争への直接参加よりも論評といった傾向が強いものの、関連の論攷がいくつか見られる。これについては、直接正信問題に触れていないものでも、主題に類似点が見いだせるものは、便宜的に正信論争の項に加えた。

(22) 大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮(熊本)

また、昭和3年の杉本道山の總持寺晋住と、それに伴う最乗寺後董の問題をめぐる議論は、あわせて貫首選挙の項に加えた。

記事の分類は、前回と同様、大きく分けて、1.宗門行政・制度、2.教団構成、3.教育・布教教化、4.資料その他とし、その中をさらに、1.(1)宗憲、(2)宗制、(3)両本山、(4)貫首選挙、(5)宗政、(6)財政、(7)議会、(8)選挙、(9)服制、(10)宗教法、(11)社会、(12)宗勢時評、2.(13)僧侶、(14)尼僧、(15)寺族、3.(16)僧堂、(17)大学、(18)教育、(19)教化、(20)軍隊布教、4.(21)人物評、(22)遠忌、(23)史料、(24)その他、の24に細分化し、これに、(25)正信論争を加えた。

表記は、論題、執筆者名(多くは筆名)、掲載号、発行年月(T.は大正、S.は昭和)の順とし、分類ごとに、執筆者別・刊行順に排列した。

また、これも前回述べたとおり、本目録は、宗政や宗制を中心に宗門の思潮を探るためのものであるが、別に、宗門の現場の動き、人物の動静など、社会史、民衆史に近い立場からの考察も必要であり、『宗教時報』の例で言えば、時事消息の「天南地北」や「見たり聞たり」、短評の「玉手箱」等の記事を整理中であるが、これについてはまた別の資料として提示する予定である。

曹洞宗関係雑誌記事分類目録稿(2)

〈大正14年1月～昭和5年10月：『宗教時報』(2)〉

1. 宗門行政・制度

(1) 宗 憲

宗憲違反問題に就て一観察 酔雨楼主人 宗教時報119 T.15.12

(2) 宗 制

宗達告示(宗報六七五大正一四三一)転載 宗教時報98 T.14.3

法規令達(宗報転載) 宗教時報100 T.14.5

特任宗務所長姓名(六月一日任命) 宗教時報101 T.14.6

法規令達一注意指示事項 宗教時報102 T.14.7

宗制調査会規則と細則 宗教時報131 S.2.12

現今の宗務所に対する感想 一ノ瀬鉄心 宗教時報102 T.14.7

宗調断片 奥村洞麟 宗教時報133 S.3.2

大宗務所制度の実施に就て 祥雲晚成 宗教時報100 T.14.5

宗務院職制問題に就て 摘星山樵 宗教時報143 S.3.12

宗務所新設に就て各府県当路者諸師に望む 天能逸人 宗教時報102 T.14.7

宗務院の職員交代に就て一言す 天能逸人 宗教時報108 T.15.1

末寺同盟を造れ 南陽道人 宗教時報129 S.2.10

宗制調査会は何を調査したか 南陽道人 宗教時報136 S.3.5

住職権と其資格 白眼道人 宗教時報11 T.15.3

宗制調査会を吊ふ 白衣禅 宗教時報138 S.3.7

宗政監査の必要に就て 松崎青洲生 宗教時報163 S.5.8

寺院階級査定に就て 無産寺院生 宗教時報149 S.4.6

(3) 両本山

公正会と懇話会 宗教時報112 T.15.5

宗憲と盟約の関係に就て疑点 一研究生 宗教時報110 T.15.3

宗憲と盟約の関係に就て疑点 一研究生 宗教時報111 T.15.4

二個の重要問題 臥雲楼主人 宗教時報113 T.15.6

(24) 大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮 (熊本)

両山の関係如何	来馬琢道	宗教時報102	T.14.7
記念号発行を祝して同志の奮起を促す			
	全振道円	宗教時報102	T.14.7
公正会と懇話会	滴水	宗教時報109	T.15.2
公正会と懇話会	滴水	宗教時報110	T.15.3

(4) 貫首選挙

大本山總持寺後董貫首選挙投票開鐸一覽表(各府県別)

		宗教時報133	S.3.2
愛山同志者の活動と其後の経過		宗教時報139	S.3.8
武山幹部論		宗教時報140	S.3.9
覚王山住職任命問題に就て	愛知局外生	宗教時報161	S.5.6
黒島弘禅氏の書を見て	岩井孝温	宗教時報141	S.3.10
杉本道山と道海に就いてを讀みて	臥雲天遊生	宗教時報136	S.3.5
厳たる慣例を鑑みよ	伽那提婆	宗教時報141	S.3.10
嶽山百年の大計を奈何	空華	宗教時報143	S.3.12
杉本道山と道海に就て	三耳道人	宗教時報134	S.3.3
斯くして末派の民心を失ふ一敢て武山の幹部に寄す			
	斬魔	宗教時報138	S.3.7
最乗寺後董問題に関する黑白判定照魔鏡		宗教時報13	S.3.6
最乗寺問題に対する伊藤道海氏の心行批判			
	照魔鏡	宗教時報138	S.3.7
大本山總持寺時局問題に就て	瀧田空華庵	宗教時報142	S.3.11
時事漫評	同憂迂人	宗教時報150	S.4.7
時事漫評	同憂迂人	宗教時報151	S.4.8
法城を繞りて	兎耳生	宗教時報159	S.5.4
武山革新論	白茆星	宗教時報142	S.3.11
總持寺混乱の責任如何	風外道人	宗教時報137	S.3.6
前門の虎後門の狼	風外道人	宗教時報140	S.3.9
陰謀か陽謀か(上)	碧眼道人	宗教時報138	S.3.7
腹かき切つて	碧眼道人	宗教時報139	S.3.8
顧問会の寺院大会	碧眼道人	宗教時報142	S.3.11
總持寺の混乱に就て一言す	摩伽羅道人	宗教時報140	S.3.9
最乗寺後席問題に関する顛末の真相を摘載して栗山老師の公開状に答ふ (中央仏教本年六月所載栗山老師の公開状に就て)			

丸山存応・河野紹岡・小川禅立

宗教時報137 S.3.6

栗山師は如何なる態度をとるか—大雄山後董問題就て

利劔山人 宗教時報139 S.3.8

（5）宗 政

宗門更生運動 宗教時報162 S.5.7

曹洞宗政末派運動史(承前)—能山分離主張の理由

奥村洞麟 宗教時報98 T.14.3

曹洞宗政末派運動史(承前)—能山分離主張の理由

奥村洞麟 宗教時報99 T.14.4

曹洞宗政末派運動史(承前)

奥村洞麟 宗教時報101 T.14.6

曹洞宗政末派運動史(承前)

奥村洞麟 宗教時報103 T.14.8

曹洞宗政末派運動史(承前)

奥村洞麟 宗教時報104 T.14.9

曹洞宗政末派運動史(続)

奥村洞麟 宗教時報105 T.14.10

曹洞明治末派運動史(続)

奥村洞麟 宗教時報106 T.14.11

曹洞明治末派運動史(続)

奥村洞麟 宗教時報107 T.14.12

曹洞明治末派運動史(続)

奥村洞麟 宗教時報108 T.15.1

曹洞宗政末派運動史(続)

奥村洞麟 宗教時報109 T.15.2

曹洞宗政末派運動史(続)

奥村洞麟 宗教時報110 T.15.3

曹洞宗政末派運動史(続)

奥村洞麟 宗教時報111 T.15.4

曹洞宗政末派運動史(続)

奥村洞麟 宗教時報112 T.15.5

曹洞宗政末派運動史(続)

奥村洞麟 宗教時報113 T.15.6

曹洞宗政末派運動史(続)

奥村洞麟 宗教時報115 T.15.8

曹洞宗政末派運動史(続)—両山分離運動の懐古並批判

奥村洞麟 宗教時報116 T.15.9

曹洞宗政末派運動史(続)

奥村洞麟 宗教時報117 T.15.10

曹洞宗政末派運動史(続)—両山分離運動の懐古並批判

奥村洞麟 宗教時報118 T.15.11

曹洞宗政末派運動史(続)—両山分離運動の懐古並批判

奥村洞麟 宗教時報120 S.2.1

曹洞宗政末派運動史(続)—両山分離運動の懐古並批判

奥村洞麟 宗教時報121 S.2.2

曹洞宗政末派運動史(続)—両山分離運動の懐古並批判

奥村洞麟 宗教時報122 S.2.3

(26) 大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮 (熊本)

曹洞宗政末派運動史(続)一両山分離運動の懐古並批判	奥村洞麟	宗教時報123	S.2.4
曹洞宗政末派運動史一両山分離運動の懐古並批判	奥村洞麟	宗教時報124	S.2.5
曹洞宗政末派運動史一両山分離運動の懐古並批判	奥村洞麟	宗教時報125	S.2.6
曹洞宗政末派運動史(完)一両山分離運動の懐古並批判	奥村洞麟	宗教時報126	S.2.7
吾宗の行政法に就て一言	加藤良宗	宗教時報104	T.14.9
吾宗の行政法に就て一言	加藤良宗	宗教時報105	T.14.10
噴沫	近眼生	宗教時報97	T.14.2
宗門政治も伝道也	来馬琢道	宗教時報105	T.14.10
宗門政治の民衆化	玄鬼	宗教時報122	S.2.3
宗政の調和的発達	堅白山樵	宗教時報118	T.15.11
宗政の調和的発達	堅白山樵	宗教時報119	T.15.12
棟方唯一と仙台の中学林	見聞覚知生	宗教時報125	S.2.6
宗門の革新運動に就て	湖月道人	宗教時報121	S.2.2
宗門盛衰の分岐点(1)	斎藤智昇	宗教時報100	T.14.5
宗門盛衰の分岐点(2)	斎藤智昇	宗教時報102	T.14.7
宗門盛衰の分岐点(3)	斎藤智昇	宗教時報103	T.14.8
宗門盛衰の分岐点	斎藤智昇	宗教時報105	T.14.10
宗教の目標	酔雨山樵	宗教時報131	S.2.12
宗政の目標(続き)	酔雨楼主人	宗教時報133	S.3.2
宗門の新政変概評	竹水	宗教時報121	S.2.2
宗門の現状と頽廢気分(第1)	竹里荘主人	宗教時報156	S.5.1
宗門の現状と頽廢気分(第2)	竹里荘主人	宗教時報157	S.5.2
宗門の近況に就て当局に注意を促す	天能逸人	宗教時報98	T.14.3
偶感を述ふ	天能逸人	宗教時報100	T.14.5
宗務当局に一言す	天能逸人	宗教時報127	S.2.8
私の政治観	秃翁	宗教時報121	S.2.2
臨時宗会に際して総務の施政方針演説に就て	独笑道人	宗教時報129	S.2.10
二大問題	永井秀夫	宗教時報100	T.14.5
脚下照顧	南陽山人	宗教時報96	T.14.1

宗政と末派	南陽道人	宗教時報118	T.15.11
宗門の現状打開すべし	南陽道人	宗教時報145	S.4.2
宗門の政変をドウ見るか	白眼生	宗教時報123	S.2.4
宗務院新幹部の経論(?)を読み	白眼楼主人	宗教時報122	S.2.3
当局者と対末派態度と其の方針	白水山人	宗教時報128	S.2.9
宗門政治の特質	望翠山樵	宗教時報126	S.2.7

(6) 財 政

予算過誤問題と緊急議員総会		宗教時報159	S.5.4
公募金貳百萬両	円海山人	宗教時報119	T.15.12
宙に迷ふ三十万円	沖津大象	宗教時報150	S.4.7
末派の財源問題	斎藤智昇	宗教時報109	T.15.2
宗費問題に就ての一考察	斎藤智昇	宗教時報118	T.15.11
農村寺院問題に就て	菅原洞禅	宗教時報100	T.14.5
農村寺院問題に就て	菅原洞禅	宗教時報101	T.14.6
不当予算提出の失態に対して当局所決を促す	北海山人鉄崑崙	宗教時報157	S.5.2
宗門の財源に就て当局者に質す	天能逸人	宗教時報111	T.15.4
宗務所に就て	比企野羊生	宗教時報115	T.15.8
局面転回	北溟漁夫	宗教時報153	S.4.10
寺院家屋税に就て	東奥 茂凌山人	宗教時報127	S.2.8
寺院家屋税に就て	東奥 茂凌道人	宗教時報128	S.2.9

(7) 議 会

宗会議員一覧表に就て		宗教時報98	T.14.3
自明治八年第一次至大正十三年第二十八次曹洞宗 宗会議員宗務職員一覧表(其1)		宗教時報98	T.14.3
自明治八年第一次至大正十三年第二十八次曹洞宗 宗会議員宗務職員一覧表(其2)		宗教時報99	T.14.4
自明治八年第一次至大正十三年第二十八次曹洞宗 宗会議員宗務職員一覧表(其3)		宗教時報100	T.14.5
第貳拾九次曹洞宗宗会報告(1)		宗教時報106	T.14.11
第貳拾九次曹洞宗宗会報告(2)		宗教時報107	T.14.12
宗会議員住所姓名		宗教時報107	T.14.12
曹洞宗第三拾次宗会傍聴録(1)		宗教時報118	T.15.11

(28) 大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮 (熊本)

曹洞宗第三拾次宗会傍聴録(2)		宗教時報119	T.15.12
宗会議員(公選)住所氏名		宗教時報127	S.2.8
第三拾壹次曹洞宗宗会報告		宗教時報130	S.2.11
曹洞第三拾貳次宗会傍聴録(1)		宗教時報134	S.3.3
宗会議員住所氏名		宗教時報134	S.3.3
曹洞第三拾貳次宗会傍聴録(5)		宗教時報135	S.3.4
曹洞第参拾三次宗会傍聴録(1)		宗教時報146	S.4.3
曹洞第参拾三次宗会傍聴録(2)		宗教時報147	S.4.4
曹洞第三十四次宗会傍聴録		宗教時報155	S.4.12
宗会議員住所氏名		宗教時報155	S.4.12
新公選議員一覧表		宗教時報161	S.5.6
新特選議員名鑑		宗教時報162	S.5.7
時評漫言	逸 外	宗教時報97	T.14.2
宗会議員論	オーデーエス生	宗教時報127	S.2.8
臨宗は違憲?	奥村洞麟	宗教時報129	S.2.10
宗会の言論に就て	来馬琢道	宗教時報99	T.14.4
宗議会の概評	斎藤智昇	宗教時報108	T.15.1
議会無用論を読みて	斎藤智昇	宗教時報147	S.4.4
立憲政治の破壊	城南隠士	宗教時報164	S.5.10
宗会漫評	松籟生	宗教時報96	T.14.1
洞上公論臨時増刊号宗会報告の議長不謹慎と云ふ記事に			
付妄を弁じて真相の諒解を求む	高階瓏仙	宗教時報137	S.3.6
来馬琢道師に寄す	谷口虎山	宗教時報100	T.14.5
宗議会への要求	摘星山樵	宗教時報145	S.4.2
時事寸評	摘星山荘主人	宗教時報156	S.5.1
第貳拾九次宗会に就て一言す	天能逸人	宗教時報105	T.14.10
第三拾次宗会に直面して当に一言す			
	天能逸人	宗教時報117	T.15.10
宗会議員素質の向上に就て	天能逸人	宗教時報123	S.2.4
切に宗会議員の自覚を望む	永井秀天	宗教時報126	S.2.7
宗議会漫評	白茆星	宗教時報148	S.4.5
宗会雑感	白衣禅	宗教時報132	S.3.1
洞宗特選議員に付て	覆面子	宗教時報99	T.14.4
両本山と宗議会	魔児	宗教時報136	S.3.5
宗会予想録	漫語楼主人	宗教時報117	T.15.10

曹洞宗第三次宗会に直面して	茂凌山人	宗教時報145	S.4.2
宗議会の任務	野民	宗教時報106	T.14.11
議会無用論	緑水青山	宗教時報146	S.4.3

(8) 選挙

宗会議員候補便り		宗教時報124	S.2.5
宗会議員当選者		宗教時報125	S.2.6
宗議選情報一過半の大勢定まる		宗教時報160	S.5.5
一水四見		宗教時報162	S.5.7
時事寸評	蛙仙	宗教時報163	S.5.8
天声人語	円海山主人	宗教時報115	T.15.8
関西の候補者	円海山人	宗教時報123	S.2.4
自主の精神(第3)	斎藤智昇	宗教時報124	S.2.5
選挙後の所感	斎藤智昇	宗教時報161	S.5.6
議員候補者に自重を望む	長野 小仙人	宗教時報159	S.5.4
選挙毒語	青面夜叉	宗教時報160	S.5.5
総選挙と宗門の政派(?)	積翠山樵	宗教時報124	S.2.5
宗議選挙の結果を見て	靖菴	宗教時報125	S.2.6
選挙権の行使	南陽道人	宗教時報123	S.2.4
宗議選挙の一観察	憤慨道人	宗教時報124	S.2.5
時評片々	魔留基司徒	宗教時報159	S.5.4

(9) 服制

服制問題の考察	栃木 恵石生	宗教時報107	T.14.12
宗門僧侶服制に就て	関西 風骨道人	宗教時報102	T.14.7

(10) 宗教法

宗教法案と我宗の将来	白眼生	宗教時報113	T.15.6
墓地所有権確認勝訴の経過大要	茂凌山人	宗教時報144	S.4.1
寺院法人説に就て卑見を述べて宗教法案調査委員に望む	山田奕鳳	宗教時報115	T.15.8

(11) 社会

社会事業に就て	山梨県共愛道士	宗教時報119	T.15.12
---------	---------	---------	---------

(30) 大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮 (熊本)

御大典記念梵鐘鑄造勸募序	高長寺	宗教時報143	S.3.12
事業より観たる宗門	摘星生	宗教時報151	S.4.8
脚下照顧	南陽山人	宗教時報99	T.14.4

(12) 宗勢時評

昭和二年を送るに際して宗務当局に望む		宗教時報131	S.2.12
吹きよせ		宗教時報153	S.4.10
時事寸評	蛙仙	宗教時報164	S.5.10
時評漫言	逸外	宗教時報101	T.14.6
時事漫評	逸外生	宗教時報106	T.14.11
宗教時報壹百号を祝して	伊藤道海	宗教時報100	T.14.5
祝満壹百号	奥村洞麟	宗教時報100	T.14.5
落葉広ひ(1)	岡山 鬼舟	宗教時報118	T.15.11
落葉広ひ(2)	岡山 鬼舟	宗教時報119	T.15.12
二行評論	銀杏楼主人	宗教時報140	S.3.9
二行評論	銀杏楼主人	宗教時報142	S.3.11
漫評	銀杏楼主人	宗教時報143	S.3.12
宗門は如何になるか一附、武山の将来は如何に			
	斎藤智昇	宗教時報151	S.4.8
祝 記念号発刊を併而吾党告る	渋谷潜龍	宗教時報100	T.14.5
時事漫録	双庵忘主人	宗教時報104	T.14.9
時事漫評	第三者	宗教時報154	S.4.11
時事漫評	太白星	宗教時報152	S.4.9
時事問題	対嵐山樵	宗教時報132	S.3.1
宗政時評	対嵐山樵	宗教時報133	S.3.2
昭和四年の回顧	竹里荘主人	宗教時報155	S.4.12
宗門の現状と頽廢気分(第4)	竹里荘主人	宗教時報159	S.5.4
宗門の現状と頽廢気分(第5)	竹里荘主人	宗教時報160	S.5.5
宗門時事	摘星山樵	宗教時報134	S.3.3
時事漫評	摘星山人	宗教時報158	S.5.3
末派更生の策如何(3)	摘星山荘主人	宗教時報154	S.4.11
時事毒語	摘星山荘主人	宗教時報157	S.5.2
末派更生の策如何	摘星荘主人	宗教時報152	S.4.9
末派更生の策如何	摘星荘主人	宗教時報153	S.4.10
宗門の多事なる新年を迎へて当局に望む			

	天能逸人	宗教時報96	T.14.1
洞門多事なる丁卯の年を迎ふ	天能逸人	宗教時報120	S.2.1
宗門多忙なる昭和戊辰の春を迎へて			
	天能逸人	宗教時報132	S.3.1
宗門多事なる昭和五年を迎へて	天能逸人	宗教時報156	S.5.1
脚下照顧	陽山	宗教時報10	T.14.9
脚下照顧	南陽山人	宗教時報105	T.14.10
宗現下の時事問題	南陽道人	宗教時報115	T.15.8
断の一字	根本宗貞	宗教時報100	T.14.5
時感二三	覆面子	宗教時報103	T.14.8
時言二則	北溟漁夫	宗教時報149	S.4.6
時評片々	魔留基司徒	宗教時報160	S.5.5
漫言漫語	東北 茂凌山人	宗教時報117	T.15.10
時言三章	渡辺小洋	宗教時報100	T.14.5

2. 教団構成

(13) 僧侶

山上氏の仏教家の行くべき道を読みて			
	宮城県下の一読者	宗教時報110	T.15.3
山上氏の仏教家の行くべき道を読みて			
	宮城県下の一読者	宗教時報112	T.15.5
現代思想に容れられぬ院寺生活	斎藤智	宗教時報111	T.15.4
現代思想に容れられぬ寺院生活	斎藤智昇	宗教時報112	T.15.5
寺院と干与者	双忘生	宗教時報116	T.15.9
宗門僧侶の奮起を促す	南陽道人	宗教時報109	T.15.2

(14) 尼僧

(15) 寺族

教裁法及び寺族法の制定を望む	下野 恵石生	宗教時報105	T.14.10
雑感雑録	太白星	宗教時報148	S.4.5
曹洞宗婦人会聯合大会案内	洞上記者団	宗教時報98	T.14.3
寺族法制定の先決問題として(1)	永井秀天	宗教時報104	T.14.9
寺族法制定の前提として	永井秀天	宗教時報105	T.14.10
寺族法制定の前提として	永井秀天	宗教時報106	T.14.11

(32) 大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮 (熊本)

宗門更生の一方策(1)	楠亭老生	宗教時報162	S.5.7
宗門更生の一方策(2)	楠亭老生	宗教時報164	S.5.10
横領の氣勢を恐る	山田靈輪	宗教時報100	T.14.5
寺族法について	野民	宗教時報108	T.15.1

3. 教育・布教教化

(16) 僧 堂

洞門現下の緊要に就て	松汀	宗教時報116	T.15.9
僧堂教育の真相(上)	泰山生	宗教時報151	S.4.8
僧堂教育の真相(下)	泰山生	宗教時報152	S.4.9
改正教育法の僧堂教育に就て	永井秀天	宗教時報129	S.2.10
僧堂は何処へ行く	憂宗生	宗教時報163	S.5.8
修道の用心(其23)―僧堂の面目は僧堂たるに在り	陸鉞巖	宗教時報148	S.4.5
修道の用心(其24)―僧堂教科書に就ての私見	陸鉞巖	宗教時報14	S.4.6
修道の用心(其25)―僧堂に専科、研究科必要に就ての私見	陸鉞巖	宗教時報159	S.5.4
修道の用心(其27)―僧堂に専科、研究科必要に就ての私見	陸鉞巖	宗教時報160	S.5.5

(17) 大 学

(18) 教 育

宗門教育漫評	逸外生	宗教時報103	T.14.8
宗門教育の根本義―主として僧堂教育の改善に就て	栗山泰音	宗教時報100	T.14.5
学校教育と宗教教育	田中靈鑑	宗教時報158	S.5.3
「仏とは何ぞや」の答案	田辺昇雄	宗教時報153	S.4.10
「仏とは何ぞや」の答案(承前)	田辺昇雄	宗教時報154	S.4.11
宗門の現状と頽廢気分(第3)	竹里莊主人	宗教時報158	S.5.3
宗門教学に就て	憂宗生	宗教時報162	S.5.7
宗中存在の価値	憂宗生	宗教時報164	S.5.10
修道の用心(其15)―洞宗の今日有るは僧堂本位の結果なり(下)	陸鉞巖	宗教時報97	T.14.2

洞門教育の欠陥を補ひ其振興を望む—宗教時報壹百号を慶して	陸鉞巖	宗教時報100	T.14.5
修道の用心(其16)—僧堂無くなれば洞宗は無し	陸鉞巖	宗教時報109	T.15.2
修道の用心(其17)—宗魂養成の大急務	陸鉞巖	宗教時報111	T.15.4
修道の用心(其18)—覚王山へ御遺形奉迎せし聯因と修道の信念	陸鉞巖	宗教時報113	T.15.6
修道の用心(其19)—著書は構成の名に關す	陸鉞巖	宗教時報116	T.15.9
修道の用心(其20)—僧堂と将来	陸鉞巖	宗教時報123	S.2.4
修道の用心(其21)—安樂法門の弁	陸鉞巖	宗教時報124	S.2.5
修道の用心(其22)—専門僧堂は洞宗根本義の道場	陸鉞巖	宗教時報146	S.4.3
修道の用心(其27)—道念道行	陸鉞巖	宗教時報161	S.5.6

(19) 教化

処世の十訓		宗教時報103	T.14.8
婦人会講話(第1)		宗教時報126	S.2.7
修養とは		宗教時報128	S.2.9
修養とは(第2)		宗教時報129	S.2.10
仏教道德に就て(完)		宗教時報132	S.3.1
円覚經講話(第1)		宗教時報139	S.3.8
運命判断から		宗教時報159	S.5.4
街頭笑話 婆々正直		宗教時報161	S.5.6
左伝物語 食指動く		宗教時報162	S.5.7
悲壯話材 至誠の活現		宗教時報163	S.5.8
寺院には必ず大藏經を奉置せよ	飯坂円収	宗教時報101	T.14.6
宗門經論—考察	石川伝応	宗教時報103	T.14.8
宗門經論—考察	石川伝応	宗教時報104	T.14.9
両山布教師に就て	一地方民	宗教時報112	T.15.5
仏教道德に就て	大内青巒	宗教時報131	S.2.12
当選仏教聖歌一夕の歌	北谷愛枝	宗教時報164	S.5.10
一夜処女講習会	黒木頭道	宗教時報96	T.14.1

(34) 大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮 (熊本)

一夜処女講習会	黒木顕道	宗教時報97	T.14.2
一夜処女講習会	黒木顕道	宗教時報98	T.14.3
処女一夜講習会	黒木顕道	宗教時報99	T.14.4
国民精神の剛健	黒木顕道	宗教時報100	T.14.5
処女一夜講習会	黒木顕道	宗教時報101	T.14.6
処女一夜講習会	黒木顕道	宗教時報102	T.14.7
処女一夜講習会	黒木顕道	宗教時報103	T.14.8
主婦講習会	黒木顕道	宗教時報104	T.14.9
主婦講習会	黒木顕道	宗教時報105	T.14.10
主婦講習会	黒木顕道	宗教時報106	T.14.11
主婦講習会	黒木顕道	宗教時報108	T.15.1
主婦講習会	黒木顕道	宗教時報109	T.15.2
主婦講習会	黒木顕道	宗教時報110	T.15.3
主婦講習会	黒木顕道	宗教時報111	T.15.4
今後の青年	黒木顕道	宗教時報112	T.15.5
今後の青年—農村衰退の原因	黒木顕道	宗教時報115	T.15.8
今後の青年	黒木顕道	宗教時報116	T.15.9
女子の三従と依頼心	黒木顕道	宗教時報117	T.15.10
女子の三従と依頼心	黒木顕道	宗教時報118	T.15.11
女子の三従と依頼心	黒木顕道	宗教時報119	T.15.12
宝船の由来	黒木顕道	宗教時報120	S.2.1
宝船の由来	黒木顕道	宗教時報121	S.2.2
我観時報	護法生	宗教時報158	S.5.3
教育と殺人事件に就て	斎藤智昇	宗教時報116	T.15.9
自主の精神(第1)	斎藤智昇	宗教時報122	S.2.3
自主の精神(第2)	斎藤智昇	宗教時報123	S.2.4
自主の精神(続)	斎藤智昇	宗教時報125	S.2.6
自主の精神(続)	斎藤智昇	宗教時報126	S.2.7
婦人講話(続)	斎藤智昇	宗教時報127	S.2.8
婦人講話(続)	斎藤智昇	宗教時報128	S.2.9
強者と弱者	斎藤智昇	宗教時報133	S.3.2
強者と弱者(第2)	斎藤智昇	宗教時報134	S.3.3
強者と弱者(続き)	斎藤智昇	宗教時報138	S.3.7
日々の行持	斎藤智昇	宗教時報141	S.3.10
日々の行持(2)	斎藤智昇	宗教時報143	S.3.12

唯我独尊	斎藤智昇	宗教時報155	S.4.12
唯我独尊(2)	斎藤智昇	宗教時報156	S.5.1
唯我独尊(3)	斎藤智昇	宗教時報157	S.5.2
唯我独尊(4)	斎藤智昇	宗教時報158	S.5.3
偽りなき生活	斎藤智昇	宗教時報159	S.5.4
偽りなき生活	斎藤智昇	宗教時報160	S.5.5
偽りなき生活	斎藤智昇	宗教時報161	S.5.6
三心に就て(第1)	斎藤智昇	宗教時報162	S.5.7
三心に就て(第2)	斎藤智昇	宗教時報163	S.5.8
三心に就て(第3)	斎藤智昇	宗教時報164	S.5.10
修証義の内へ「参禅弁道」の章を加へて第四章と為すに就て			
	紹慶密応	宗教時報128	S.2.9
伝光祖訓	紹慶密応	宗教時報136	S.3.5
伝光祖訓	紹慶密応	宗教時報137	S.3.6
曹洞宗信仰の標準と伝光祖訓	紹慶密応	宗教時報153	S.4.10
曹洞宗信仰の標準と伝光祖訓(承前)	紹慶密応	宗教時報154	S.4.11
右か左か	濁流生	宗教時報154	S.4.11
緊縮の信仰的根拠	濁流生	宗教時報155	S.4.12
親ごころ子ごころ	濁流生	宗教時報157	S.5.2
菩提に就て	寺田有全	宗教時報136	S.3.5
菩提に就て	寺田有全	宗教時報137	S.3.6
信受奉行	寺田有全	宗教時報138	S.3.7
信受奉行	寺田有全	宗教時報139	S.3.8
円覚経講話(第2)	寺田有全	宗教時報140	S.3.9
円覚経講話(第3)	寺田有全	宗教時報141	S.3.10
円覚経講話(第4)	寺田有全	宗教時報142	S.3.11
円覚経講話(第5)	寺田有全	宗教時報143	S.3.12
円覚経講話	寺田有全	宗教時報145	S.4.2
円覚経講話	寺田有全	宗教時報147	S.4.4
円覚経講話	寺田有全	宗教時報149	S.4.6
円覚経講話	寺田有全	宗教時報150	S.4.7
円覚経講話	寺田有全	宗教時報152	S.4.9
円覚経講話	寺田有全	宗教時報153	S.4.10
円覚経講話	寺田有全	宗教時報154	S.4.11

(36) 大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮 (熊本)

信仰勝利・純一の道業(本誌九十四号の続)			
	東海禅孝	宗教時報97	T.14.2
信仰勝利・純一の道業(本誌九十七号の続)			
	東海禅孝	宗教時報98	T.14.3
我が道俗の衛生に就て	東海禅孝	宗教時報137	S.3.6
街上哀話 老乞食と犬	桃李生	宗教時報160	S.5.5
布教師の修養	南陽道人	宗教時報137	S.3.6
我宗信仰の中心に就て	西有穆堂	宗教時報101	T.14.6
児に先き立たれて	遺されし親	宗教時報155	S.4.12
曹洞教会の雑誌発行に就いて	白衣禅	宗教時報135	S.3.4
曹洞教会の雑誌発行に就いて(下)			
	白衣禅	宗教時報136	S.3.5
宗歌に就て鬼舟師の意見に共鳴して			
	森山癡閑	宗教時報121	S.2.2
両本山巡回布教師の顔触れを見て憂宗生		宗教時報157	S.5.2
両本山布教に就て	憂宗生	宗教時報158	S.5.3

(20) 軍隊布教

4. 資料その他

(21) 人物評

人物月旦一山本祖学君・西沢天海君		宗教時報131	S.2.12
時事寸評	蛙仙	宗教時報162	S.5.7
大正六年より拾四年まで	岩井仰運	宗教時報100	T.14.5
人物月旦に就いて沐猴君に答ふ	斎藤智昇	宗教時報123	S.2.4
人物月旦一樺山励本君・中村応隆君			
	張耳三喝道人	宗教時報107	T.14.12
人物月旦一中村圭堂君	張耳三喝道人	宗教時報145	S.4.2
訪問漫録	シイ、エス生	宗教時報107	T.14.12
人物月旦一安藤鮮明君・義満玄機氏			
	順風耳	宗教時報98	T.14.3
人物月旦一浅野霊麟君	松濤生	宗教時報149	S.4.6
人物月旦一木村泰賢君・宇井伯寿君			
	醉雨楼主人	宗教時報116	T.15.9
人物月旦一小松原国乗君・倉本霊峰君			

	醉雨楼主人	宗教時報117	T.15.10
人物月旦一丹羽仏庵君・鏡島宗純君			
	醉雨楼主人	宗教時報118	T.15.11
人物月旦一森道本君・高井宏道君			
	醉雨楼主人	宗教時報121	S.2.2
人物月旦一川村真明君・大道英仙君			
	醉雨楼主人	宗教時報126	S.2.7
人物月旦一門脇探玄君・仁生廓山君			
	醉雨楼主人	宗教時報127	S.2.8
人物月旦一水野玄秀君・釜田黙雄君			
	醉雨楼主人	宗教時報128	S.2.9
人物月旦一清水真龍君・日比証翁君			
	醉雨楼主人	宗教時報129	S.2.10
来馬琢道君に一言す	関東 大声道人	宗教時報103	T.14.8
人物月旦一山端息耕君・小林仙苗君			
	対嵐荘主人	宗教時報134	S.3.3
人物月旦一清水大寿君・金山活牛君			
	対嵐房主人	宗教時報148	S.4.5
人物評論一高階瓏仙君・菊地真龍君			
	摘星楼主人	宗教時報133	S.3.2
人物評論一光山百川君・飯塚哲英君			
	摘星楼主人	宗教時報137	S.3.6
人物月旦一伊藤文鏡君・谷口虎山氏			
	白眼生	宗教時報97	T.14.2
人物月旦一野田道環君・田中懐光君			
	望秋閣主人	宗教時報141	S.3.10
人物月旦一山本富賢君	望秋閣主人	宗教時報142	S.3.11
人物月旦一岩山真定君	望秋閣主人	宗教時報143	S.3.12
人物評論一乙川文獅君	望秋閣主人	宗教時報164	S.5.10
人物月旦一斎藤智昇君	沐猴	宗教時報122	S.2.3

(22) 遠 忌

大遠忌記念大会		宗教時報98	T.14.3
大遠忌雑感	谷口生	宗教時報101	T.14.6

(23) 史料

墓碑の研究		宗教時報131	S.2.12
仏降誕暦年に就て		宗教時報163	S.5.8
常斎大師御伝記	金振道円	宗教時報110	T.15.3
常濟大師御伝記	金振道円	宗教時報111	T.15.4
常濟大師御伝記	金振道円	宗教時報112	T.15.5
両祖の称号問題	来馬琢道	宗教時報96	T.14.1
聖徳太子の御治績	黒板勝美	宗教時報148	S.4.5
血書正法眼蔵に就いて	田辺昇雄	宗教時報151	S.4.8
總持寺の隆盛と門前町の発展について	横関了胤	宗教時報163	S.5.8
總持寺の隆盛と門前町の発展について(承前)	横関了胤	宗教時報164	S.5.10

(24) その他

我国の人口増加		宗教時報103	T.14.8
超スピードの世界		宗教時報159	S.5.4
帝国大学生と国費		宗教時報162	S.5.7
浮雲の如き富		宗教時報164	S.5.10
満百号の所感	在田如山	宗教時報100	T.14.5
途上所見	玄生	宗教時報151	S.4.8
越山拝登記	高倉勇明	宗教時報149	S.4.6
桐一葉	知秋居士	宗教時報152	S.4.9
祝壹百号発刊	東海解空	宗教時報100	T.14.5

(25) 正信論争

二行評論	銀杏楼主人	宗教時報141	S.3.10
酒前茶後(其ノ1)	銀杏楼主人	宗教時報146	S.4.3
酒前茶後(其ノ2)	銀杏楼主人	宗教時報147	S.4.4
宗務当局者に反省を促す一星華発行に就て	東京 降魔道人	宗教時報139	S.3.8
星華の安心問題を奈何	護法域人	宗教時報145	S.4.2
人間の目的	斎藤智昇	宗教時報144	S.4.1
人間の目的(第3)	斎藤智昇	宗教時報146	S.4.3

人間の目的(第4)	斎藤智昇	宗教時報148	S.4.5
自己の覚醒(1)	斎藤智昇	宗教時報149	S.4.6
自己の覚醒(2)	斎藤智昇	宗教時報150	S.4.7
自己の覚醒(3)	斎藤智昇	宗教時報151	S.4.8
自己の覚醒(4)	斎藤智昇	宗教時報152	S.4.9
信は力なり	斎藤智昇	宗教時報153	S.4.10
信は力なり	斎藤智昇	宗教時報154	S.4.11
宗門の一大転機	湘南逸人	宗教時報150	S.4.7
蟬時雨	耳聾生	宗教時報151	S.4.8
一信徒に代りて一宗門布教上の疑義			
	瀧田空華庵	宗教時報146	S.4.3
一信徒に代りて一宗門布教上の疑義			
	瀧田空華庵	宗教時報147	S.4.4
宗門の一大転機(上)	田湘南	宗教時報148	S.4.5
雑誌星華の記事に就いて当局者の責任を問ふ			
	永井秀天	宗教時報150	S.4.7
断篇零語	白茆星	宗教時報144	S.4.1
天に唾する者	蟠龍山人	宗教時報161	S.5.6
何んでもない	北溟漁夫	宗教時報152	S.4.9
時事漫評	来久生	宗教時報144	S.4.1